



御意見・お問合せ 入力フォーム

大学入試に関すること

以下の項目に全て入力の上、確認ボタンを押してください。

- * 文字化けを防ぐため、半角カタカナ、丸数字、特殊文字は使用しないで下さい。
- * 件名・内容の項目について、お使いの環境によっては最大文字数を入力できない場合があります。

■ 種別

どちらか選択してください

- 御意見・御要望
- 御質問

■ 氏名

■ 氏名(フリガナ)

■ メールアドレス

■ メールアドレス(確認用)

■ 件名

50文字以内 スペースを含む

■ 内容

1,000文字以内 改行・スペースを含む

件名と内容の例文をコピー&ペーストして送信していただくだけで十分です。もちろん、オリジナルの意見を送っていただければ、より色々な意見が文科省に寄せられ、効果があると思います。

確認

【件名の例】

2021 年度大学入試における民間英語検定の利用を中止してください

【内容の例】（改行・スペース含めて 1000 字以内なので注意してください）

2021 年度大学入試における民間英語検定の利用については、現高校 2 年生が対象であるにもかかわらず、いまだに情報不足や大学の取扱いの違いなどがあり、高校では不安と混乱がますます広がっています。9 月 18 日から英検の予約が始まり、実質、民間英語検定の利用がなし崩し的に開始されている状況です。受験に向けた「共通 ID」発行申込みが 2019 年 11 月 1 日から始まることを考えると、残された期間はあまりに短く、現時点で指摘されている問題が解消されないまま本番に突入するおそれが強くなっています。

2021 年度大学入試における民間英語検定の利用については、次の問題があります。

- ① 民間英語検定の内容がまちまちで、受験料負担や受験機会の公平性が確保されない点や経済状況および地域間格差に対する方策がないこと、障害のある受験生への配慮が不十分であることなど、入試で最も重要な公平性や公正性が守られるという確信がない
- ② それぞれの民間英語検定の目的や評価基準の違いやスコアと CEFR の対照に根拠がないことなど、英語民間検定を入試で利用すること自体への疑問がある
- ③ 民間英語検定の質に関する実質的な審査がされず、運営が民間検定試験団体に丸投げされ、第三者が監視・監査する制度もない
- ④ 会場や人手の確保が難航しているとの情報もあり、高校会場の利用等が行われれば、公正・公平が担保されるか懸念があり、また会場準備等で高校教員の負担が生じる
- ⑤ 合否判定に使わない、または、最小限の影響しか与えない使い方でありながら全員に受験を課す大学が多く、受験生は不合理な経済的・時間的・精神的負担を強いられる

大学入学共通テストを含む大学入試「改革」についての不安や不信感が高まり、大学入試そのものへの信頼がいま大きく損なわれようとしています。文科省は、こうした受験生の不安や制度の問題点を払拭することが求められています。以下の点について、文科省に強く求めます。

1. 2021 年度大学入試における民間英語検定の利用を中止すること。
2. 「英語 4 技能」測定に固執した入試のあり方を見直すこと。
3. 営利を目的とする民間業者に公教育を委ねる「教育の市場化」を見直し、国は責任をもって教育条件整備に努め、公平・公正な大学入試制度とすること。